



第43号
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集/青年部総務広報委員会
TEL 027-234-5111 FAX 027-234-8031 URL <http://www.maebashi-yeg.com>

代表幹事の一年を振り返って



前橋商工会議所青年部

代表幹事 嶋田 大和

平成十六年度の前橋商工会議所青年部(緑水会) 事業も、会員の皆様の活躍と事務局・関係各位のご協力により、無事終了しようとしております。今年度は皆様もご承知のとおり、国内外において数多くの出来事がありました。地震・異常気象をはじめとする自然災害。紛争・事件等の社会情勢の問題。当緑水会の内外においても、新しい前橋市への合併をはじめとして変革の時代となっております。皆様の企業においても個人においても、明日何がおきても不思議ではない時代となりました。その中で、会員皆様の貴重な時間を緑水会活動に割り振っていただきまして、誠にありがとうございます。特に各委員長には、委員会活動を中心として、各事業を企画運営していただき感謝しております。

上は全力を尽くす。どこまでが限界か、体力・気力・能力・時間とも全力投球でやってみる。四十代になって久しぶりに高校時代の部活動当時のように、また、社会人となって初めて任された工事現場当時のように、自分をたたくき上げました。緑水会活動に関するものは可能な限り参加するようにしました。今年度代表幹事として、各団体・組織からの委嘱や出向が十五役職ほどありましたが、これも九割以上は出席をしました。どうしても欠席の時には、代理として必ず当会のメンバーが出席するようにしました。また、各方面から当会への要請・要望・相談などは、逃げることもなくできる限りの対応をしました。会員の皆様、また事務局に多大なご尽力をいただくとともに、ご迷惑をおかけしたと思います。最後に、皆様、この一年間本当にご協力ご支援ありがとうございました。

平成十六年度の前橋商工会議所青年部は、大変厳しい経済情勢の中ですが、嶋田代表幹事のもと色々な変化に対応しながら積極的に活動が出来たと思います。私は、直前代表幹事の立場から全体的・相対的に会の動きを見るよう心がけてきました。



直前代表幹事

山岸 直樹

本年度の活動の中で大きな出来事をあげると「前橋まつりで国道五十号の夜間全面使用が可能になった」ことがあります。今まで限られた場所と出場希望者の人数とのバランスがあわずに、参加人数や時間等々の制約をしなくてはなりません。その場所の前提が変わったことにより(本年度は早急な対応をしなくてはならず大変な苦労が有りましたが)今後の前橋まつりの運営に大いなる可能性を含んだ変化だったと思います。

また、群馬県青年部連合会からの呼びかけにより「全国会長研修会誘致」の話が具体的に上がった事も印象的でした。結論としては、商青連の運営方針が変わるとの事から誘致の話は白紙になりましたが、近年に無かった全国規模の話に、それぞれの年代の皆が真剣に考えた事に大きな意義を感じました。

今後も小さな変化、大きな変化は沢山あると思いますが、それらに惑わされずに対応し青年部らしい活動をしていきたいと思っております。

副幹事の一年を振り返って

副幹事
長谷 浩 克

毎年度同様ですが、今年度も既に3月で早くも年度末を迎えました。緑水会活動も多くの方々に支えられ1年が経過しようとしています。会員の皆さんにおいては、会社・緑水会・家庭と様々な立場で様々な出来事があったことと思います。それぞれの会員にとって緑水会に対する考え方・係わり方も千差万別でありましようが、今後の社会生活の中で生かしていけるような、有意義なものが緑水会活動において得られればと願っております。しかしながら、それは与えられるものではなく、自分自身が積極的に求めていくべきものであると思います。「そのようなことの手伝いができればいいな」と私自身は考えておりましたが、成果については甚だ疑問であります。

また、今年度は多くの新入会員を迎えることができ、大変喜ばしい反面、退会される方もあり、残念な面もありました。会員の皆さんが緑水会に愛着を持ち、外部の人からは非参加してみたいと思われるよう、今後も微力を尽くしたいと思っております。

副幹事の一年を振り返って

副幹事
石井 繁 紀

今年度、嶋田代表幹事より副幹事を仰せつかり、無事大過なく務め上げさせていただきました。事が出来ましたが、本部役員、会員、そして事務局の皆様のご協力ご支援によるものと深く感謝申し上げます。副幹事二年目ということもあり、昨年に比べると大分、精神的には余裕を持つて取り組めたと思っております。とはいえ、二委員会の担当を仰せつかり、目まぐるしく一年が過ぎたという感じです。

担当の総務広報委員会は、実は初めての経験で、緑水会を支える裏方として、運営を司る要として、まさに縁の下の力持ちだということを実感しました。また、事業推進委員会は、対外的イベントであり緑水会の顔ともいえる行事を精力的にこなされ、また、今年度は山荘計画と広域との連携をふまえて富士見村の花火大会でのイベントの開催も行い、力強い推進力を見せてくれました。両委員会とも本当にご苦労様でした。

皆様、今年一年、本当にありがとうございました。

副幹事の一年を振り返って

副幹事
田 島 宏 明

年度当初は副幹事として何をすればいいのかよく理解できていないままでしたが、委員長連絡会議や役員会で議論をかわす中で「大局的な見地」の意味がわかってきたような気がします。今年度は県青連事業に参加させていただく機会も多く、また前橋広域合併という大きな節目を迎えるなかで大胡・宮城・粕川の商工会青年部との交流事業にも参加させていただきました。交際の輪がずいぶん広がりました。特に、商工会青年部メンバーの熱い想いには感銘し、商工会議所青年部の歌にもある「地域を支える気概」を感じました。友好団体や行政の方々と接して受けた刺激を当会にフィードバックしているよう努力していきたいと思えます。

当会の活動や若いメンバーからの積極的な意見を会内だけにとどめず、外部に對して積極的に紹介し、会の存在価値を広く知らしめるのも副幹事の役割なのかな、と思い始めたところです。一年間の皆様のご努力に感謝申し上げます。

監事の一年を振り返って

監 事
宮 田 美 恵

今年度監事の大役を仰せつかり、皆様の足手まといにならぬよう努力をしていますが、所存ですとの就任の言を忘れ、皆様の予想通り我が身を柵に上げ辛口の監事講評をさせていただきました。ここから感謝とお詫びをさせていただきます。少しくも皆様の役に立てるならとお引き受けいたしました。振り返ると甚だ心許ないのが本心です。無事この大役が果たせた訳ではございませんが、皆様の力添えを持ちまして卒業を迎える事ができ、心から御礼申し上げます。

思い起こせば気楽な気持ちで面接を受けたのが九年前でした。右も左も解からぬままに多くの諸先輩方々会員の方々との出会い、様々なご指導ご教示をいただき今日がございます。自分の良い所も悪い所も多くの時間と言葉と行動を重ねるうちには誤魔化しが利きませんでした。時代は進化していきますが、多くの時間を共有することで築き上げた人間関係の困難さを今、卒業にあたり実感しております。失礼や御無礼は卒業ということで御勘弁頂き、皆様の今後の活躍をお祈りいたします。長い間有難うございました。

監事の一年を振り返って



監事
安達 一志

嶋田代表幹事より『監事』という役職をお預かりしてやっと一年が終わろうとしております。この「やっと」が私にとっての重荷でした。

当初「皆様のご意見をきちんとお伺いし、また、お役に立てることをお伝えしていく立場」と言っていたことはほぼ実現できなかったように思います。役員会でお話しした内容で、バッチの話だけは覚えております。まだまだバッチを付けていないかたを見かけます。緑水会のメンバーの証ですから、きちんと付けていただきたいと思えます。また、出欠の連絡は社会人として当然のことですので、きちんと守っていただきたいと思えます。なんだか監事講評のようですが、会社を離れてもきちんとしようではありませんか。それこそ緑水会の会員です。

あまり頭ごなしに言わないよう気を付けながら次年度も監事を続けさせていただきますと思えます。いよいよ卒業年度になります。なんとか最後のご奉公をしてきれいに卒業したいものだと思います。一年間ありがとうございました。

総務広報委員長を振り返って



総務広報委員長
町田 憲昭

二年間に亘り、総務広報委員長の大役を務めさせていただき、先ずもって感謝の意を表します。

私自身は、「任されたことはきっちりやる」「コミュニケーションを大切にし、人を活かす」という基本方針をただ実直に守って活動した次第ですが、総務広報委員会主幹の行事全てをつつがなく終えることができたのは、副委員長を始め、理事の方々の目覚ましい活躍のお陰であり、実に感謝に堪えないものです。皆様の強い責任感と当事者意識の中に、まさしく私は『活きた人』をみた思いであり、すばらしい充足感を得られた任期間でした。このようなすばらしい体験と出会いとは、私の誇りであり、財産であります。今後、皆様と、そしてこれから入会してくる方々とも、その財産と一緒に分かち合い、さらに増幅させ、本会発展のために貢献していく所存であります。

今年度も残り僅かですが、最後まできっちり務めて参ろうと思えます。二年間ご協力ありがとうございました。

会員交流委員長を振り返って



会員交流委員長
小野 昌人

会員交流委員長を仰せつかり、早くも一年が経ちました。諸先輩方のご指導により無事勤めさせていただき、これも委員会皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。

本年度は片品川の溪流でのマス釣り大会、OBをお招きしての親睦ゴルフ大会、最後の三合同クリスマスパーティー、また雨で一日だけの開催なのになぜか赤字を出してしまった前橋まつりの神輿運営など、三人の副委員長を始め理事・メンバーの皆様、並びに事務局のご協力と努力により、素晴らしい一年になりました。ことに、改めて御礼申し上げます。また、新入会員の皆さんとの飲み会を最後までつきあおうと強い決意だったので、歳には勝てず途中で寝入ってしまうことも多々ありました。体力の限界を知った思い出深い楽しい一年でございました。

これからもメンバーの一人として尽力し、個性ある緑水会作り而努力いたす所存でございます。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

経営研究委員長を振り返って



経営研究委員長
三輪 聡

はじめに本年度経営研究委員長としてお預りした事業を無事開催出来ましたことを会員各位の皆様方に感謝するとともに御礼申し上げます。

例会開催の事前打合わせで緑水会の歴史、伝統を学ばせてくれたOBの方々、市政とそとの緑水会の役割を熱心にお話してくれた前橋市長や市役所の方と接しられた事は委員長だからこそできる貴重な体験になりました。これから委員長になる方々にも多くの人と接する機会を経験して経営活動に役立てていただき、緑水会の中心として活躍してもらいたいと思えます。また、年度当初に掲げた目標「スムーズな委員会の開催」が年間を通して実行出来たことは大変満足しています。

最後になりますが初めての経営研究委員会また初委員長で大変不慣れで未熟な私ですが、一年間多くの事業に協力して頂いた委員会の皆様に対し感謝するとともに、これからは御指導宜しくお願いいたします。「一年間たいへんありがとうございました。」

地域開発委員長を振り返って



地域開発委員長
五十嵐 経世

人の心を動かすことができなければいい結果は得られない、その思いを次の世代の人たちに伝え、感じてもらうことが自身の役割...と思いついてもトライした一年でしたが、結果は中途半端で自己採点は50点、残念!!

原因を考えてみると、十月までにはとんどの事業を行う強行軍、事業のチエックや反省も不十分で準備実行の繰り返しで当初の目的はどこへやら...、今度やるときはと思っても卒業と重なり、これにてエンド。委員会の仲間には事業の連続にもかかわらず協力いただき本当にありがとうございました。どうかこのダメ委員長の二の舞はしないよう今後の事業活動に生かしてください。そんな中でも今年一番印象に残ったのは、前橋まつりの「だんべえ」でした。初めての国道50号での開催とあって不安もありましたが、四千名の方が一斉に踊るのを目の当たりにするのは圧巻で身震いするほど、ある意味快感でした。終わつたと同時に委員会のメンバー全員と強く握手をし、50号の真ん中に寝転び天を仰いだときに充実感を感じました。そうした達成感を分かち合えたことが、唯一の救い

です。

どうか今後も何にでも首を突っ込み、いろいろな感動を味わってください。必ず未来に役に立つと確信します。がんばれ後輩!

事業推進委員長を振り返って



事業推進委員長
大島 昭夫

事業推進委員長としての一年間が終わろうとしています。ご協力を頂いた会員メンバーの皆様、事務局の皆様、本当にありがとうございました。

代表幹事より委員長を仰せつかったときは、今まで以上に頑張ろうと思っていました。失敗ばかりが多かった一年

人前で話しをする時には、緊張ばかりしてうまく説明ができなかったり、夏のイベント例会では天候の判断を誤り参加者に迷惑をかけ、海外視察研修に関しては、参加者を集めることができず中止となってしまいました。いろいろと思いつくと、反省点ばかりです。

しかし、委員長になって、いろいろな人との交流や、いろいろな事業に参加させていただいた事は、貴重な経験をしたと思っております。

最後に、次年度の委員長に事業内容をしっかりと引継ぎたいと思います。

卒業会員より一言

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部



石関 俊 午

私が緑水会に入会させていたいただいたのが昭和六十年五月七日、二十五歳のときでした。

それ以来、早二十年の歳月が過ぎ、時がたつことの早さを改めて実感している次第です。その間、会員の皆様をはじめとする、大勢の方々との交流、会や地域の行事参加などを通じ、貴重な勉強や体験をさせていただきました。人間としても経営者としても、多少なりとも成長できたものと思えますが、これも偏に商工会議所の職員の方々と、会員の皆様のお陰と、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

末筆ながら、緑水会のみますますのご発展と、会員の皆様のご多幸を心よりお祈りし、卒業の御挨拶とさせていただきます。



卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 理事



岡田 友子

長いようで短くも感じられる緑水会の日々を振り返ってみますと沢山の素敵な仲間と出会え、多くの時間を共有し、個人ではなかなか経験する事の出来ない数多くの行事に参加させていただき、大変勉強させていただきました。

会員同士はもちろんの事先輩方にも、ご縁ができるいろいろご指導をいただき心より感謝しております。これらの経験は今後の私の人生の貴重な財産になるものと感じております。

近年、会も若返り活発化してきました。現役の皆様には、多々ご苦労もあろうかとは存じますが、今まで積み重ねた歴史の良い所と、新しい発想でさらに活躍していただき、緑水会がますます元気な会になりますよう応援しております。九年間本当にありがとうございました。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部



石川 靖

小学校、中学校、高等学校、そして大学と卒業を経験し、まさかこの歳になってまた卒業

を経験するとは思いませんでした。

しかし卒業はひとつのけじめ、また違った場所から前橋の発展を支援して行きたいと考えています。

実力のある、生意気な若者が登場し、前橋そして群馬をぐいぐい引っ張って行くことを願っています。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部



樋澤 一幸

平成五年二月に入会以来あつという間の十二年間で、それなりに良い経験をさせていただきました。心から感謝申し上げます。

あまり委員会活動に参加できなかった私をたまに出席した折には、暖かく迎えてくれた歴代の所属委員会の委員長並びにいつもお願い事ばかりしていた事務局の方々にはこの場を借りまして、お礼を申し上げます。

商工会議所は去年会頭他三役が大幅に入れ替わりこれから大きく変革をしようとしています。緑水会の存在意義を示すには絶好且重要な時期だと思います。嶋田代表と共に益々の皆様のご活躍を期待しております。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部



大島 弘光

私は高校卒業後、十三年間前橋を離れていました。地元前橋に戻っても同級生も少

なく、家業の仕事をする位でした。そんな中、縁あり『緑水会』に入会。平成四年二月に入会して以来、あつという間に十三年間少々経ってしまいました。

私にとって『緑水会』は、いろいろ勉強をさせて戴いた会だけでなく、良い意味で他の会と違ってチョット泥臭いところかなという印象があります。一番は、歴史を築いて来てくれたたくさん先輩・良き同僚・次期を担うたくさん後輩と知り合えた事です。在籍中は会議所職員の皆様をはじめ、緑水会の皆様には大変お世話になりました。最後になりましたが皆様のご健勝、ご繁栄をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

〈追伸〉地元前橋中心の生活なのでどこかでお会いすることがあると思います。その時は、声かけて下さい。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 理事



馬場 瑞枝

子育てが終わってからの入会でしたが、入会当初は正直申しまして、仕事と家事を両立

させる事すら大変な私に、緑水会の活動が本当にできるのかと、不安でした。でも、気がついてみると、あつという間に七年間が過ぎ、卒業を迎える事ができました。これも、皆様に支えていただいたお陰だと、心より感謝申し上げます。

この間、緑水会に入会しなければ、できなかつた、数々の貴重な経験をさせていただき、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。又、すばらしい先輩方・仲間に出会えた事、J.Cの会員・OBの方々、市の職員の方々との交流を深められた事も、私にとって大きな財産となりました。本当にありがとうございます。



新入会員紹介

平成十五年四月から十六年三月までの新入会員です。

塩原 健



入会
平成16年4月7日
会員交流委員会
(有)積成工業

植坂 純也



入会
平成16年4月7日
会員交流委員会
オリックス(株)
前橋支店

海老沼 孝之



入会
平成16年6月4日
会員交流委員会
イーケーエレベーター(株)

真田 昌幸



入会
平成16年6月4日
会員交流委員会
(有)C. I. A



平形 敦史

入会
平成17年2月4日
会員交流委員会
(株)西建



吉田 恵

入会
平成17年2月4日
会員交流委員会
(株)徳永



太刀川 洋樹

入会
平成17年1月7日
事業推進委員会
(株)東和銀行本店営業部



萩原 美和

入会
平成16年10月4日
会員交流委員会
(株)ジャスト



宇野 友洋

入会
平成16年7月5日
会員交流委員会
(株)宇野製作所
前橋工場



亀井 太一

入会
平成17年3月4日
会員交流委員会
前橋成形工業(株)



岡庭 郁夫

入会
平成17年3月4日
会員交流委員会
アイティーエス(株)

第13代ローズ・クイーンの一年を振り返って

高橋里枝



周りの方の素晴らしいご尽力により、一年間、微力ながら無事にローズクイーンを務めることができました。大変感謝しております。

思い起こせば一年前、私を育てくれた前橋のために少しでも恩返ししたいと、コンテストに出場したことがきっかけでした。そこで、今期のメンバーに出会い、活動を通じて前橋の観光に携わる方々や、本当に様々な人達との出会いがありました。

を目指していきたくと改めて思うことができました。…今後も、前橋市が皆から愛される伝統と発展のある街でありますように…。



深澤 恵美

前橋の観光大使として名をいただき早く一年、多くの方々に支えられながら大変貴重な体験をさせていただきました。

いただいたこと、本当に感謝しております。緑水会の方々と共にいるということだけで大変心強く、楽しく参加させていただくことができました。また、イベントに来てくださった皆さんが喜んで帰ってくださるその舞台の裏には、緑水会の方々の熱い思いや、前橋を動かす大きな力があることを実感し、本当の前橋市の姿に触れることもできたように思います。

前橋市は知れば知るほど魅力がますます増します。これからも前橋市に触れ、さらに好きになっていこうと思います。このよくなききっかけを与えてくださり、本当にありがとうございました。

諸田 純子



思いがけず、「女性」であるということを自覚する素敵な経験となりました。日頃仕事をやる上で「男も女もない。何でもする」という

のがモットー、なかなか『しおらしく』とはいきません。そんな私がローズクイーンとなり、素敵な衣装を身にまとい襷を掛けると、スツと背筋が伸びウエストを2cm程引き締め「女性」として人前に立つことを意識します。こんな風になれるものかと自分を楽しんでいきます。

前橋の観光大使としての役割を果たすことができたかといえば、もつと何かできなかつたかな？と力不足を反省する面もありますが、ローズクイーンとして前橋市に携わることができたことを誇りに思います。前橋市の行事に携わらせていただき、折に触れ前橋市の暮らしやすさを感じました。バラ園まつりや花火大会、前橋まつり等、年齢の別なく皆さんが穏やかに集まる姿を嬉しく思いました。

青年部の皆様を始め商工会議所、市役所の方々に大変お世話になり、仕事をさせていただけただけことを感謝いたしております。今後の前橋市の益々の発展と、前橋に集う皆様方の健やかな暮らしを願っております。私もこの経験で学んだことを忘れずに、ローズクイーンの名に恥じないよう、素敵な女性として成長していけるように努めて参ります。素晴らしい経験をさせていただきありがとうございました。

